

トークカフェ atPLUS+アンカー サイエンスカフェ in 桐生④

講座概要

大学で行われている科学技術に関する教育や研究は、現代社会の基盤を支えているにもかかわらず、一般に難解で近寄りがたいと思われがちです。また、桐生などの地域の動向は、身近に感じられるわりに理解されていないことが多いようです。

本公開講座は、リラックスした雰囲気の中でお茶を飲みながら、サイエンスとアートの興味ある話を、気軽に聴いていただくのが目的です。内容は、中高生以上ならば誰でも理解できるように、わかり易くお話しいたします。

本公開講座は、トークカフェ at Plus+アンカーと名付けられた桐生市内の Plus+アンカーというカフェで開催される講演会のシリーズであり、群馬大学公開講座として実施するものです。理工学府の二人の教授（松原雅昭、大澤研二）が司会を行い、毎月の第2土曜日の午後3時から、Plus+アンカー（桐生市本町六丁目382, <http://anchor-plus.com>）を会場として定期的の実施します。偶数月はサイエンスカフェ、奇数月はアートカフェとなります。

※会場にてトークカフェの参加費（ドリンク代を含む）を Plus+アンカーにお支払いください。

実施責任者：理工学府教授 大澤 研二
理工学府教授 松原 雅昭

会場

PLUS+アンカー（桐生市本町六丁目382）

※事前申込み後、当日は会場までお越しください。

（当日席に余裕のある場合は、申込み無しでも参加いただけます。）

□講義日程

日 程		講 義 内 容	講 師
第7日	10月12日 (土)	15:00 ； 16:30 【ゲル ～生きものが増える環境】 人の体の約60%は水でできています。それよりずっと少ない量でこの水を保持しているのはタンパク質や多糖などの高分子です。このように、高分子の網目が大量の溶媒で膨潤したものを「ゲル」と言い、我々の身の回りには、豆腐、プリン、こんにゃくなどの食品や紙おむつ、固めるゼリーなどの日用品などの「ゲル」で溢れています。今回は、このような日常目にするゲルとヒトの体を形作るゲルとの違い、ゲル上での細胞の増殖など、ゲルにまつわる話を紹介します。	理工学府 教授 土橋 敏明